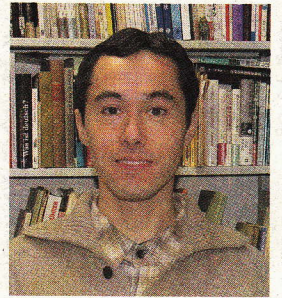


2012.1.15

ドイツの原発

昨年3月11日の東日本大震災後、福島第一原発事故で世界は騒然となった。中でもドイツは日本よりも敏感に反応し、即座に全原発の点検などを実施。7月には、22年までの原発全廃を決定し、この過程にはドイツのキリスト教界も大きくかかわった。近著『原発とキリスト教』（新教出版社編集部編）でもドイツの教会の対応を紹介した、上智大学外国語学部の木村護郎クリストフ准教授に、同国の状況や背景を解説してもらった。



木村護郎クリストフ准教授

東日本大震災後、22年までの全廃決定 教会も大きく関与

産業界も原発認める

隣国フランスでは、多数の原発が稼働することが知られている一方で、ドイツがこれほど原発に神経をとがらせてきたのには理由がある。

「ドイツではチェルノブイリの事故（86年）の影響がはつきり出ているよそ事ではなかった。現在でも南部のバイエルン州では、森で捕ったイノシシは全頭検査、キノコは場所によって注意しなければならぬ。フランスとは実感の違いがあり、ドイツは持続的に影響を受けています」

70年代から環境政党の「緑の党」が台頭し、次第に原発自体の危険性が認識されるようになった。経済界は原発利用をできるだけ延長したい意向はあるが、脱原発自体は認めている。「チェルノブイリ原発事故以降、今の日本でも、原発なしでは電力不足になるという議論がある。周辺から電力を買えるドイツと日本は異なるという意見もある。だがドイツが電力売買するのはEU（欧州連合）内の価格調整のためである。自国で電力を賄うめを立って廃止時期を決めたと木村さんは説明する。「原発利用国の中でドイツが脱原発の先陣を切る。その自覚を持ってやっています」

倫理委へ教会からも

物理学者のメルケル首相は福島事故後、科学技術への過信を反省。早く脱原発を決断したかった。事故後間もなく、諮問機関「エネルギーの安全供給に関する倫理委員会」を設置。17人の委員には原子力研究者も環境保護団体の代表者も入っていない一方で、プロテスタントから一人、カトリックから一人、ライオンハルト・マルクス枢機卿、カトリック中央委員会（信徒全国組織）のアロイス・グリユック会長（元・バイエルン州議会議長）が入っていた。

「経済、社会、倫理的な幅広い観点から議論する意図がありました。社会全体で包括的に考えるように。議論はすべてネットやテレビで公開され、この議論を通じて、政府の政策に対し社会的コンセンサス（合意）を得ることも目的でした。5月には報告書が出されました」

教会は「核」原子力問題について70年代から発言を続けてきた。冷戦の最前線だったドイツには米国の核兵器が多数配備され、反核と原発が一致する素地があった。カトリック司教団は昨年5月に原発評価の倫理基準を示す文書を発表した。2年前から検討していました。最終処分の問題が解決してないこと、災害やテロで事故が起る可能性があること、合理的に正当化できないと結論づけました。再生可能エネルギーの開発を早め、エネルギー転換の必要性を強調しています」

被造物を守る責任が、神の前にいる人間にある、という、神の創造の信仰に基づいて教会はこの問題にかかわる。「エネルギー問題は、持続可能性とともに、地域や貧富の差といった、地球規模の公正」、核廃棄物問題のような「世代間の公正」、被造物全体の公正」とかわる問題だと強調されています」

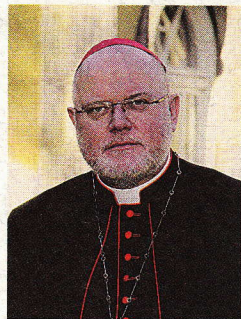
持続可能な生活様式の転換も求められている。「一般の信者の意識には差がありますが、教

会の建物に太陽光パネルと考えるの社会に対してを設置したり、百パーセント再生可能エネルギー（太陽光、水力、風力）で賄われる修道院も。EUの基準に沿った環境マネジメントをする最大の事業者は教会です」

06年の司教団文書は教会の任務として、①エネルギー問題を教会の司牧活動の真正な一部である

と考えるの社会に対しての問題を働き掛ける③節制、効率化、エネルギー転換を教会で実践することを挙げている。

マルクス枢機卿は日本の教会のためにメッセージを寄せた。日本カトリック正義と平和協議会の『JP通信』11月号、またはサイト（http://www.eb.mac.com/jicjp/justice_and_peace/home_files/homepage_jp_mars.pdf）



マルクス枢機卿

http://www.eb.mac.com/jicjp/justice_and_peace/home_files/homepage_jp_mars.pdf

「10年秋にも10万人規模のデモがありました。ドイツは02年に脱原発を決定。09年に政権の連立相手が変わり、メルケル首相が脱原発の時期を延

ばず決定をしました。それに對し激しい反発があり、カトリック、プロテスタントとも反対声明を出しました」

三つの公正

ドイツのキリスト教諸